

令和元年度第3回富山県総合教育会議

1 日時 令和2年3月4日(水) 13:30～14:30

2 場所 富山県庁4階大会議室

3 出席者 富山県知事 石井 隆一

富山県教育委員会

教育長 伍嶋 二美男

委員 山崎 弘一

委員 町野 利道

委員 村上 美也子

委員 藤重 佳代子

4 事務局出席者 総合政策局長 蔵堀 祐一

教育・スポーツ政策監 荒井 克博

理事・教育次長 布野 浩久

教育次長 坪池 宏

参事・企画調整室課長 朝倉 正

参事・教育企画課長 広沢 久也 他関係課職員等数名

5 議事

- ・新型コロナウイルス感染症対策のための学校における一斉臨時休業措置に伴う対応について

6 会議の要旨

司会が開会を宣し、石井知事の挨拶後、富山県総合教育会議運営要領第3条の規定により、以後の議事については知事が進行した。

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策のための学校における一斉臨時休業措置に伴う対応について

(石井知事)

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止ということで、各学校において一斉の臨時休業等を実施していただいているが、現時点での対応につき、事務局からなるべく簡潔に説明いただきたい。

広沢参事・教育企画課長、近藤小中学校課長、本江教育参事・県立学校課長、東瀬教育参事・保健体育課長から資料1-1から資料5に基づき「新型コロナウイルス感染症対策のための学校における一斉臨時休業措置に伴う対応について」説明した。

(石井知事)

- ・事務局から説明があったが、ただいまから委員の皆様からご意見を伺いたい。

(村上委員)

- ・急に決まったことで現場の戸惑いは、いかばかりかと思うが、医療の立場から申し上げると、この一、二週間が感染を食いとめるために非常に大事な時期であることが強調されている。流行を全く抑制することは難しくても、流行をできるだけ抑えて、流行の開始を遅らせる、ピークを遅らせることが重要であるとされている。
- ・一気に患者さんが増えると、重症の方への対応がうまく回らなくなってしまい、医療体制が崩壊することにも繋がるので、そういったことに留意しながら、学校も対応をしていかなければいけないと思う。
- ・しかしながら、卒業を控えた時期であり、また低学年をお持ちの保護者の方々は、外来診療に来られる方をみても、非常にお困りの様子が見てとれる。いろいろと報告があったが、特に低学年のお子さんをお持ちの場合、居場所の確保を柔軟に行っていただきたいということをお願い申し上げたい。
- ・放課後児童クラブ、学童保育については、人的にも、それから空き教室を使うことなどを是非お願いしたいと思う。
- ・小中学校では先生方が子どもたちの健康状態を把握することとなって

いるし、高校は自ら行うということだが、これについてもよろしく願います。

- ・また、わかってきていることとして、感染しやすいのが、換気が悪くて人が密に集まって過ごすような空間である。新型コロナウイルスは、集団で集まることがとても悪いということが顕著にわかってきた。もちろん一人一人がマスクの着用や手指消毒をすることは大事だが、マスクも今、足りないので、せめて咳エチケットに心がけるということだと思う。
- ・特に高校生は、今日テレビを見ていると、行き場所がないとか、時間を持て余すなどと言っている。高校生は行動範囲が広く、この新型コロナウイルスにかかっても、多分若い人たちは症状に乏しいと思われる。あまり自覚することなく周囲にうつしてしまうことも危惧されているので、この辺はしっかりと指導していただけたらと思っている。
- ・ちょっと体調が悪いと思ったら休むことが大事なので、これは検査を受ける受けないにかかわらず、自分がもしそうであったならば、人にうつすことのないようにすることをきちっと指導していただきたいなと思っている。

(山崎委員)

- ・私からは一斉臨時休業に伴う学習面での配慮について話したいと思うが、今回の一斉臨時休業については、仮に3月24日までだとしても、年度末の二、三週間という限られた期間であるということ、また、この時期は、まず第1に、卒業、進級にかかわる授業日数等の不足がもちろん出てくるが、その分については、文科省の通知にもあるとおり、柔軟、弾力的に対応できるものであり問題ないと考えている。
- ・強いて言えば、小学校では実施予定となっている授業の中で、テストが終わっていない部分が若干あるとか、中学校においては、教科の指導計画の中で、わずかではあるが、やり残しの部分が出てきているとか、あるいは高校においては、必要な授業は終えているわけであり、学年末考査も終了していると聞いている。そういう意味では、未履修という問題は起きないと思うが、今後、この3月にはどの学校においても特別編成

の授業を行う予定にしており、その授業の時間が取れないという問題が出てきているところである。

- ・このやり残しの部分についての対応だが、何より問題となるのは自宅における1日の学習になるのではないかと思う。
- ・各学校での対応ということになると思うが、先ほど資料で説明があったが、小学校であるならば未修了のテストについてプリント等を配り活用を促すとか、中学校であるならば、やり残し分の学習内容に関する課題を出して取り組ませるなどしておられるようである。高校においても、学校ごと、教科ごとに、必要に応じて家庭学習用の課題を出して取り組ませているようである。このような形で、それぞれの課題を生徒たちが行えるようにしてあげればよいのではないかと思っている。
- ・こうした授業のない期間、日における家庭学習については、これまでも、小学校、中学校、高校とも必要に応じてプリント学習あるいは課題学習を出したりしてきているところであり、これまでの経験も踏まえながら、自宅における学習がしっかり行われるようにしていくことが重要だと思っている。

(藤重委員)

- ・まず入学者選抜についてだが、濃厚接触者の方への別室での受検や感染者の方への追検査の実施をぜひインフルエンザ同様お願いしたいと思っている。
- ・また、今のコロナウイルスについては非常に情報が氾濫しており、デマも出回っているかと思う。絶えずメディアにさらされて不安な毎日を送られているお子さんや保護者の皆さんのためにも、適切な情報をお届けしていただくことをお願いしたいと思う。
- ・文科省から「学習支援コンテンツポータルサイト」というのがアップされたが、同様に経産省からも、「学びを止めない未来の教室」というサイトがアップされている。各県とか市町村においても、教育センターさんで学習支援のコンテンツなんかを掲示してあるような市町村もあった。富山県としてもそういうお勧めの学習コンテンツというものの情報

開示をお願いできればと思う。

- ・併せて、こういった無料のコンテンツを一斉に、E d T e c h（エドテック）と呼ばれる教育の分野の企業さんが、今まで有償だったところを無償にしていろいろサービスを展開しているのだが、中には、その際に個人情報必ず登録しなければログインできないコンテンツもある。そうした場合、無料のサービスを受けるために登録した情報が後で営業的に利用されてしまうという危険性もあるので、個人情報の扱いには十分配慮いただきたいという通知もお願いできればと思っている。

（町野委員）

- ・健康面とか学習面のお話をされたので、部活動についてお話ししたいと思う。
- ・昨日、実はイギリスの方と話をした。新型コロナウイルスも恐らく7月ぐらいになればおさまるだろうということで、7、8月にイギリスに行きたいというふうに申し出たのだが、そんなに早く来なくてもいいと言われた。
- ・私らは富山にいるので、田舎で、しかも今回、今日までに感染者が1人も出ていないという状況なのだが、世界の目で見ると、WHOでは日本はもう危険国に指定されている。だから、私が思っている以上に世界は日本を危険国と見ているということをもっと忘れてはいけないと思う。
- ・そういう意味からいって、安倍総理が小学校から高校までの教育機関を全部休止するという大英断をされた。やっぱりここは、ダイナミックな対策を打たないと私もだめだと思うし、安倍さんはそういう意味では非常にダイナミックな対策を出されたなと思う。
- ・富山県もそれに倣って全部やったという流れはやっぱりどうしても必要なのであろう。「えっ、何でここまでやるの？」と最初私も思ったが、よくよく考えてみると、国際的に見てもそういう動きをしなければいけない。ダイナミックな対策を打つと大きなリバウンドが来るので、県の職員の皆さんのところにもいろんなクレームが来ると思うので、そこはやっぱり受けとめてやっていかなければならないと思う。

- ・部活動も、最初は実施するというところもちらっと出ていたが、今日の資料を見ると全部やめることになっているので、やっぱりこの方向でいいのだろうと思う。
- ・それから、各種大会も全部休止ということになっているので、このまま部活動をこの期間、とりあえず3月いっぱい休止して、様子を見た上で決めていくということでもいいのではないかと考えている。

(伍嶋教育長)

- ・私からは、冒頭、知事からも発言があったが、やはり3月というのは卒業式、終業式、また4月からは始業式ということで、本当に年度の入れかわりで、学校とすれば大変多忙であり、本当に貴重な期間であると認識している。
- ・したがって、特に卒業式とか、かなり生徒にとっても思い出のある式典なので、こういった行事の開催に当たっては、まずは各学校の実情、保護者の気持ちや意見を十分に踏まえた上で、かつ感染拡大防止という点に留意しながらも、いろいろ工夫を凝らして、それぞれの学校で学校長さんが適切に判断をして取り計らっていただければなと思う。
- ・そのほか、いろいろ進学に当たって進路指導とかやむを得ない場合もあると思うので、そういった場合には、あくまで児童生徒の健康を最優先にしながら、適切にかつ弾力的に取り計られるようお願いをしたいと思っている。

(石井知事)

- ・それぞれご意見を伺ったが、まず村上委員ご懸念の放課後児童クラブあるいは放課後等デイサービス、今回改めて調べてみると、事務方から説明もあったが、富山県内では幸い、市町村によっては多少の取扱いの違いはあるが、例えば小学校低学年の場合、午前中からは学校で自主学習をして、その後、放課後児童クラブで対応するとか、あるいは午前中から放課後児童クラブで対応するとか、それぞれ事情も踏まえて、相当程度しっかりと対応していただけているのかなと思う。

- ・また、特別支援学校の小中学部についてはちょっと気になっていたのだが、厚生部等でも調べてもらったが、居場所がないということで特別支援学校に来ていらっしゃる生徒さんも1人、2人いらっしゃるようだが、ほとんどは富山型デイサービスのようなところ、特にこれまでも特別支援学校が終わった後通っていた、障害者にも対応できるデイサービスなども受けていらっしゃる。そういうところで対応しているようであるので、こういった点は関係者の努力に敬意を表するとともに、ぜひ混乱が起らないように、これからもしっかりした対応をしていただければと思う。
- ・それから山崎委員のお話のように、やり残しの学習とか、テストが終わっていないということもあるようだが、自宅で自習する場合も含め、できるだけやり残した学習など、あるいは高校生だとそれぞれの課題があると思うので、そういった課題を学校側で生徒さんに示して、休校期間中、なるべく有意義に過ごしてもらわなければいけないと思うので、そういう配慮をお願いしたいと思う。
- ・それから、卒業式等については、日時をずらしたり、参加者の範囲を狭くしたりして大体実施できる、あるいはもう既にやられたところもあるのだろうが、やる予定だということなのでよかったなと思うが、この点も県教委のほうで、市町村教委、県立学校の場合は自らだが、各学校とよく連携して、児童の方にとってはそれぞれ人生の大事な節目のときでもあるので、また配慮していただければと思う。
- ・それから、藤重委員からあった入学者選抜のときに濃厚接触者の方などは別室で受検するということは対応できていると思うし、また会場の清掃とかアルコール消毒とか、またお話しのように、喚気が十分でないと感じやすいということがあのようなので、小まめな換気の実施とか、アルコール消毒液の設置とか、感染防止の措置を十分講じた上で入学者選抜をやってもらいたいなと思う。
- ・それからお話しのように、ネットで必ずしも事実ではない情報が出回っていることもあるようなので、先ほどの文部科学省のポータルサイト、経産省の「学びを止めない未来の教室」といった学習支援みたいなもの

もあるようなので、そういったものも活用しながら、同時に、今日の総合教育会議もそういう意味でやっている面もあるのだが、なるべく正しい情報を、各学校はもちろん、保護者の方、生徒児童の方、幅広い県民の皆さんに伝わるように今後も努力していきたいと思う。

- ・また細かく言えば、今無償になっているサイトに個人情報登録した結果、それが後でいろんな面に、企業側に使われるということもあると思うので、そういったことはまた注意喚起もしていかなければいけないと思う。
- ・それから、町野委員がおっしゃったように、特に富山県はまだ幸い感染者が出ていないこともあり、まだまだ危機感が少し、我々自身としては緊張感を持ってやっているつもりだが、世界から見てそういうふう思われているというのはやや心外な面もあるのだが、中国の隣の国だと、韓国からも近いこともあって、一まとめに1つのイメージができていくという面もあるかと思う。
- ・国際的に見たらそういう位置付けになりがちだということにも留意しながら、今回、総理の決断、中央政府のいろんなことがあったのも、いろんな面での批判のあらわれと受けとめた上で適切な対応をしていかなければいけないと思う。
- ・ただ、実はこれまでも、27日の総理の記者会見で方針が示された後も、休日も含めて、いろいろ各省庁あるいは全国知事会等を通じて、いろんな第一線、現場の実情もお話をして、例えば最初は学童保育クラブの支援員も、学校の先生は資格がないから支援員になれないとか、何かそういう議論もあったのだが、それはちゃんと通知を出してもらって、ちゃんとやろうと思えばできるというふうにもしてもらったし、それからいろんな給付金なんかを出すというのも次々に追加的に出てきたが、かなり現場の声も届けて、割合、かなりのことを速やかに対応してくれているなという面もある。こういう一種の国難で、早く対応しないと国全体が大変なことになるという時期でもあるので、政府の今回の臨時休校というのはいろんな評価があると思うが、ともあれ、ここはそれなりにしっかり対応して、まず感染防止、これ以上広がらないようにする、最大



限努力すると。そこで生じたさまざまなひずみとか負担とかについては、しっかりと国で責任を持って対応していただけるように県としても努力する。その際に、今日いただいたいろんなご意見をできるだけ生かして、国へ関係省庁等にもお話をします。それからまた、重要なテーマについては全国知事会全体として、共通の意見、要望として働きかけもしていきたいなと思っています。

- ・部活等について言うと、3月いっぱい基本は活動しないというのを町野委員からもいただいたが、1点ちょっと気になるのが、全国大会に出場する予定の選手、これは全国大会が開催されるのかどうかもあるが、出場予定者にとっては非常に大事なことでもあると思うので、この辺は教育委員会でよく全国の事情も見ながら何らかの対応ができるような、大会そのものがなくなれば仕方ないのかもしれないが、練習時間の確保も含めて、それなりの対応をしていただければありがたいなと思っています。
- ・今日は急遽お集まりいただいたが、事務方から説明したいろいろな情報を各委員の皆様にも情報共有していただいたと思う。これからも、県の教育委員会として、また県としても、市町村、関係方面も含めて、幅広い県民の皆さんに正しい情報がちゃんと伝わるように、また、いろんな課題やひずみ的なことは、今でもいろんな分野で、今日のご披露しなかったが、例えば観光の面とか一般のビジネスの面、いろんな影響が出ているので、そういったものはしっかり把握をして、政府やいろんな方面にこういった手当てが必要ではないかといったことはしっかり働きかけもしてまいりたいと思っています。委員の皆様もお気づきの点があればお聞かせいただければと思っています。

## (2) 閉 会

(石井知事)

- ・それでは、以上をもって今日の会議は終了とする。